



# 冬の交通安全運動

## 11月12日(水)～21日(金)

### ストップ・ザ・交通事故死 くめざせ 安全で安心な車社会 北海道

交通安全運動は、交通安全を身近に考え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、一人ひとりの交通安全意識の高揚を図るために実施されるものです。自身や家族の安全を守るためにも、この機会にもう一度交通安全について確認してみましょう。

また、冬道は路面状態が急激に変化し、スリップなどによる交通事故が多発します。気象状況にじゅうぶん注意し、運転技術を過信せず、慎重な運転をしましょう。

〈赤歌警察署・交通事故死ゼロ作戦本部・歌志内市〉

#### 運動の重点

- ▼夕暮れ時の歩行者と自転車乗用中の交通事故防止
- ▼路面状況に応じたスピードダウンとスリップ事故の防止
- ▼後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ▼飲酒運転の根絶



#### 運転者の皆さんへ

例年この時期は、山間部や橋りょうなどで路面状況が乾燥から凍結へと急激に変化しますが、その変化に気づかず「急ブレーキ・急ハンドル」操作をしてスリップによる正面衝突や単独事故が多発します。

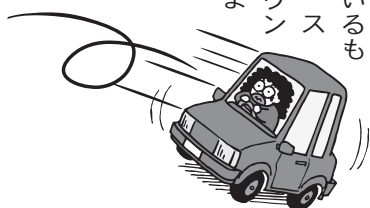
だれでも一度くらいは冬道でスリップして、ヒヤッとした経験があるものですが、夏の間はその感覚を忘れてしまい、雪の降り始めに事故を起こす人が多くなります。

初冬期の事故を防止するため

に次のことに注意しましょう。  
▼早めに冬タイヤに取り替え、

突然の降雪など路面の変化に対応できるよう準備しておきましょう。峠越えをされる方は特に早期交換を。

▼冬期は路面状況が刻々と変化します。橋の上や日陰部分は凍結しているものと考え、スピードダウンを心がけましょう。



▼凍結路面では、「急ブレーキ、急ハンドルなど「急」のつく動作はスリップの原因となります。慎重な運転操作をしましょう。

▼冬道での車間距離は、夏よりも3倍以上確保し、追突事故などを防止しましょう。また、カーブや交差点の手前ではスピードダウンを心がけましょう。

▼ヘッドライトの昼間点灯は、歩行者が車を視認しやすくなり、事故の危険性が大幅に減少します。自らが加害者とならないよう、日ごろから忘れずに点灯するようにしましょう。

#### 家庭では

歩行者事故には、自宅から500m以内の道路で多発しているという特徴があります。

自宅周辺の身近な道路は、通り慣れていることから警戒心が



乏しくなって油断が生じ、安全確認がおろそかになりやすくなります。

次のことについて家庭内で確認し、近くへの外出でも常に警戒心を持って交通事故防止に努めましょう。

▼道路での転倒や横断中の事故など、冬道の危険性や特徴について話し合いましょう。

▼夜間外出するときには、明るい色の服装や夜光反射材を着用し、ドライバーなどに存在をアピールしましょう。

▼横断歩道以外での道路横断はたいへん危険です。必ず横断歩道を利用しましょう。

# 肝炎ウイルス・エキノкокクス症 検診を受けましょう！

放っておくと命にかかわる「肝炎」や「エキノкокクス症」は、自覚症状が現れずに進行することが多いため、気づいたときにはかなり病気が進行しているといったこともめずらしくありません。市では、下記のとおり肝炎ウイルス及びエキノкокクス症の検診を実施しますので、万が一の場合の早期発見・早期治療を行うためにも、ぜひ受診しましょう。

## ■検診会場、実施期間及び受付時間

検診種別	検診会場	実施期間	受付時間
共通	歌志内市立病院	11月25日(火) ～同28日(金)	①午前10時～正午 ②午後1時30分～同4時30分 ※11月26日(水)のみ午後5時～同6時も受付可



## ■料金、対象者及び検診内容

検診種別	料金	対象者	検診内容
肝炎ウイルス検診	一般 800円 市民税非課税世帯 200円	昭和44年3月31日以前に生まれた市民で、肝炎ウイルス検診を受けたことがない方	血液検査
エキノкокクス症検診	無料	小学3年生以上の市民で、5年以上エキノкокクス症検診を受けていない方	

## ■申込期限及び申込先

11月14日(金)までに、保健介護グループ (☎42～3213) へ

### ●●●肝炎のおはなし●●●

肝臓の病気といえばお酒の飲み過ぎを思い浮かべる人が多いと思いますが、日本人の肝臓病の約8割はウイルスによる肝炎となっています。

日本ではC型肝炎ウイルスに約200万人、B型肝炎ウイルスに約150万人が感染していると推定されています。

感染していても多くは自覚症状がありませんが、次第に肝硬変や肝がんへ進行してしまう人もいますのです。

今日では医療技術や知識の進歩から、C型肝炎やB型肝炎に新たに感染する人は少なくなりましたが、現在40歳以上の人は、過去、気づかぬうちに肝炎ウイルスに感染しているおそれがあります。

40歳以上で、肝炎ウイルスの検査を受けたことがない方は、ぜひこの機会に検診をお受けください。

	B型肝炎	C型肝炎
感染経路	ウイルスに汚染された血液やだ液、体液などの分泌物を介して感染する。	B型肝炎と同様、体液等を介して感染するが、感染力が低いので、性交渉による感染や母子感染はまれ。
特徴	主な症状は全身のだるさやほきけ、黄だんなど。症状に気づかないこともある。普通は一過性の感染として治る。母子感染の場合は慢性化しやすい傾向にある。	主な症状はB型肝炎とほぼ同じだが、感染者の約70%が慢性化。その一部はさらに肝硬変、肝がんと症状が進む。

### ●●●エキノкокクス症のおはなし●●●

エキノкокクス症については、最近きつねばかりではなく、室内犬や猫からも発見されていることが報告されています。エキノкокクス症は放っておくと徐々に悪化し、命にかかわることもある病気ですが、早期に発見し治療を開始すれば完治します。しかし、自覚症状が出るまでには数年から十数年かかることから、発見された時には病気がかなり進行しているという現状にあります。

実際に感染した人の中には、きつねなどと接触したこともなく、感染するような覚えはなかったという方もいますので、どなたでも安心はできません。5年に1度は検査を受け、感染の有無を確認しましょう。